

年 組 名前：

問1

甲府市内で開かれている「ほんもの寺子屋」では、約20人が講師として参加しています。なにをしている人が講師をしていますか。

.....
.....
.....

問2

主要教科の学習以外には、どのような授業がありますか。

.....
.....
.....
.....

問3

保坂さんと前田さんは、この寺小屋をどんな場所にしたいと考えていますか。

.....
.....
.....
.....



小中生に多様な学びを

「寺子屋」各分野のプロ授業

さまざまな分野で活動する人たちが講師となって授業をする小学生向けの学びの場「ほんもの寺子屋」が、甲府市内で開かれている。主要教科の学習と合わせて、日本の伝統文化や郷土について学ぶプログラムも用意。職場体験など実践的な授業も取り入れて、多様な人と関わりながら、社会で必要とされる「自分で学び、考える力」を養える場を目指している。

〈杉原みずき〉

料理やヨガ、職場体験も

寺子屋は、和のセレクトショップ「プ・ギャラリー」「日本の匠と美ほさか」(同市)の店主保坂浩輝さんと山梨自由研究家の前田友和さんが共同代表を務め、2021年4月に設立。スポーツ選手や太鼓奏者、農家、飲食店主、家庭教師、助産師ら約20人が講師として参加している。

趣味と仕事の違いを考える授業をした体験会
|| 甲府市富竹2丁目

同市富竹2丁目の民家などで月々、土曜の週5日、各3、4コマの授業を実施。算数や国語の学習に加え、料理や和太鼓演奏、ヨガといったバラエティーに富んだ授業を行っている。時間割は週ごとに変わる。フィールドワークや飲食店での職場体験など実践的な内容もある。対象は小学1年〜中学3年生で、異なる学年の子とも一緒に学ぶ。必要に応じて複数の講師で対応するなどしている。

保坂さんと前田さんは、不登校の児童生徒が増加傾向にある現状や、コロナ禍で学校生活に制限があった状況に、既存の学校とは違う学びの場の必要性を感じたという。幅広い分野でそれぞれのプロが関わること、子どもたちの可能性を広げる多様な体験機会を提供する体制を考えた。日本や郷土の伝統や文化など「足元の宝も知ってほしい」との思いもある。

今月20日には授業の体験会が開かれた。前田さんが講師を務めた「考える時間」では、趣味と仕事の違いを参加者が考えた。保坂さんは「保護者や講師も共に学び、みんなで楽しく学べる場にしていきたい」と話している。

寺子屋は月謝制で、運営への寄付も募っている。体験会は20日も開く。申し込み、問い合わせは前田さん、電話090(2724)7617。

(2024年8月24日付 山梨日日新聞 15面)